

防災基礎講座：地域災害環境編

－日本各地の災害危険性に関わる自然環境・社会要因・災害履歴－

日本各地域の主要な都市圏，平野・盆地，河川流域，山地・丘陵域，沿岸地域などについて，地形・地盤条件を主とした土地環境，地震・大雨など災害誘因の強度・頻度，災害脆弱性に関わる地域社会環境，地震・洪水・高潮・土砂などの災害履歴とその教訓，各災害の高危険箇所，土地環境に適応した防災対応策，などの概要を整理して示します。

客員研究員 水谷武司

【目次】

1. 東京低地
－自然災害リスクが世界最大の高危険密集市街域
2. 横浜港湾地区
－幕末の開港で小寒村から発展した国際貿易都市
3. 利根川中流域
－流路変遷が目まぐるしい首都圏大河川の平野
4. 富士山周辺地域
－首都圏や東西交通に大きな影響を及ぼす火山
5. 伊豆半島
－プレートに乗り本州に衝突している火山島
6. 静岡・清水地域
－大量砂礫運搬河川が海岸につくる平野
7. 大井川流域
－かつては東海道の難所であった荒れ川
8. 濃尾平野
－日本で面積最大のゼロメートル地帯
9. 名古屋と周辺域
－高潮大災害を被った湾奥臨海都市
10. 紀伊山地
－大規模崩壊と河道閉塞が頻発する山地
11. 大阪低地
－大きな高潮が頻繁に生じている湾奥低地
12. 京都盆地
－断層盆地内の扇状地に展開する古都
13. 神戸・六甲南麓地域
－土砂・洪水災害の危険大の花崗岩山地山麓
14. 広島
－三角州分流群と花崗岩山地に囲まれた都市
15. 広島県・呉
－花崗岩山地に囲まれた旧軍港都市
16. 高知
－山地内の狭く低湿な平野に立地する都市
17. 有明海周辺域
－広大な干潟が広がる干満差大の内湾
18. 鹿児島湾周辺域
－南九州を潰滅させた巨大災害の発生地



19. 福井平野
－震度階 7 を新設させた激震災害の地
20. 富山平野
－急流河川がつくる扇状地群の平野
21. 新潟平野
－海岸砂丘列で閉ざされた一大後背低地
22. 石狩平野
－泥炭層の厚い原野が広がっていた低湿平野
23. 北海道・上川北部地域
－災害誘因が最も軽微で最も寒い地域
24. 三陸沿岸
－大津波が周期的に来襲する危険極大の海岸
25. 仙台
－災害の危険小の河岸段丘上に誕生した都市
26. 水戸
－幅狭い台地上につくられた城下町
27. 筑波山地と周辺域
－花崗岩の山塊を取り巻く地域
28. 茨城南部・土浦
－水害が宿命である平城の城下町
29. 茨城南部・龍ヶ崎
－破堤洪水をたびたび被ってきた河川低地
30. 茨城南部・取手
－大河川に沿う細長い台地上の地区
31. 長崎
－山地内に展開し土砂災害リスクの非常に大きい都市
32. 出雲平野
－神話も語る荒れ川の斐伊川がつくる平野
33. 甲府盆地
－高山で囲まれ扇状地で埋められた沈降域
34. 福岡
－山地・丘陵に半円形に囲まれた盆状の海岸平野
35. 鬼怒川下流域
－天井川河川が並走する細長い台地間低地
36. 札幌
－扇状地から大河川低湿平野へと拡大した道都
37. 能代平野
－高い砂丘で閉ざされ広い潟低地のある平野
38. 釧路平野
－日本最大の湿原が広がる広大な低湿地
39. 四国・吉野川下流域
－地すべり山地を刻み大流量を流す河川の平野
40. 伊豆大島
－南海の多雨域にある活動度ランク A 火山の島